



▲現地審査後の集合写真

市では、WHO（世界保健機関）が推奨するセーフコミュニティの認証に向けて、平成24年度から取り組みを進めてきました。10月21日、22日の両日、9月に提出した認証申請書に基づき、2人の公認認証審査員による現地審査が行われました。

審査では、外傷サーベイランス委員会や5つのテーマ別対策委員会が、取り組みを中心に、3年間に渡る活動内容を報告しました。審査の結果、市の取り組みはセーフコミュニティの指標を満たしていると評価され、認証の内定を得ました。平成28年2月に開催する認証式典によって、正式に認証取得となります。

しかし、セーフコミュニティの認証とは、「安心安全なまちになった」ということではありません。「安心安全なまちづくりのための活動の仕組みが整った」ことが認められたものです。市が根拠に基づき、事故やけがを予防する活動を継続・発展させていくという約束を意味します。

市ではこれからも、市民の誰もが笑顔で毎日を過ごせるよう、関係機関や地域、企業、市民皆さんと協働し、国際基準にふさわしい安全・安心なまちづくりに邁進していきます。

### 安心安全なまちのモデルを



甲賀市長  
なかじまたけし  
中嶋武嗣

これまでの3年間の取り組みが評価され、世界のステージへ立てたことを大変うれしく思っています。この成果は、対策委員のみなさんをはじめ、関係いただいた多くの市民や団体、企業の皆さんのご理解とご協力の結晶です。認証はゴールではなく、新たなスタートとして、これから市民協働で国際基準にふさわしい取り組みを進め、安心安全なまちとしてのモデルをつくっていきます。

### セーフコミュニティ認証の先に

セーフコミュニティの認証を受けた後は、事故やケガの発生件数だけでなく場所や原因を統計で分析し、予防策を改善していくことになります。市民皆さんには今後、さまざまな形でご参加いただくこととなりますが、明日も笑顔で過ごせるまちに向けてご協力をお願いします。

**平成28年  
2月20日(土)**

あいこうか市民ホールで甲賀市セーフコミュニティ認証式典を開催します。

※詳細な日時は後日、広報紙にてお知らせします。

## 審査員講評

### 審査員紹介



グールドブランド・  
シェーンボリ氏  
(スウェーデン)



チョ ジュンビム氏  
(韓国)

- セーフコミュニティ認証センター  
ジェネラルマネジャーおよびシニアアドバイザー
- セーフコミュニティ公認認証審査員
- <sup>アジョー</sup>亜州大学医学部 救急医療部 教授
- コミュニティセーフティプロモーションセンター センター長
- セーフコミュニティ公認認証審査員

### 講評内容

◎ **対象者にいかにサービスを届けるか、対象者の特徴をとらえた工夫**  
【自殺】自殺のハイリスク者が「男性」「中高年」そして「経済的な問題」が背景にあることなどを考えて、ゲートキーパー養成を銀行等の民間の事業所に対して実施している。

◎ **対象者の「心理面」を考慮した工夫**  
【交通】【高齢者】反射材を黒くして、目立たなくすることで、抵抗なく靴に貼れるようにしている。  
【高齢者】高齢者疑似体験をとおして若い世代が高齢者の困難を理解しやすく工夫している。

◎ **課題を可視化することで理解し、取り組みやすくする工夫**  
【子ども】交通安全マップにより危険箇所を可視化している。

◎ **地域を挙げての体制づくり**  
【子ども】ネットトラブルは家庭内あるいは学校での取り組みが多いが、甲賀市では地域も積極的に関わっている。  
【災害】災害の備えに対する意識が高く、よく準備されている。

- 【自殺】…自殺対策委員会
- 【交通】…交通安全対策委員会
- 【高齢者】…高齢者の安全対策委員会
- 【子ども】…子どもの安全対策委員会
- 【災害】…災害対策委員会

10月水  
21日

### 審査内容

- 外傷サーベイランス委員会
- 自殺対策委員会
- 子どもの安全対策委員会
- 交通安全対策委員会

**外傷サーベイランス委員会の活動報告**  
セーフコミュニティ活動の基礎となるデータ収集分析などの仕組みについて報告。



◀ **子どもの安全対策委員会の活動視察**  
甲南青少年研修センターで開催されている子育て講座で「おうちの中の事故予防」を啓発。

**自殺対策委員会の活動報告**  
ゲートキーパー養成講座を金融機関等民間の事業所に対して実施していることを審査員は高く評価。



◀ **交通安全対策委員会の活動報告**  
活動用ベストを着用して審査に臨む委員会。



10月木  
22日

### 審査内容

- 高齢者の安全対策委員会
- 災害対策委員会



◀ **高齢者の安全対策委員会の活動報告**  
高齢者に対するおもいやり運転をPRする「おもいやりタヌキ」や協力事業所の広がりを促進する「応援プレート」を示し報告。

**高齢者の安全対策委員会の活動視察**  
子どもたちが甲賀忍者音頭で審査員をお出迎え。



◀ **高齢者の安全対策委員会の活動視察**  
かぶか生涯学習館で行われた「高齢者と園児の交通安全教室」では、ゆうゆうクラブの皆さんと園児と一緒に交通ルールを学習。



◀ **災害対策委員会の活動報告**  
家具転倒防止対策や自主防災組織の取り組みについて報告。

